

令和6年度 省庁別財務書類の概要

文部科学省

〔留意事項〕

○資料中の計数については、

- ・原則として単位未満切り捨てのため、合計額が一致しないことがあります。
- ・単位未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「ー」で表示しています。

文部科学省の任務と組織等の概要

○文部科学省の任務（文部科学省設置法第3条）

文部科学省は、教育の振興及び生涯学習の推進を中心とした豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成、学術の振興、科学技術の総合的な振興並びにスポーツ及び文化に関する施策の総合的な推進を図るとともに、宗教に関する行政事務を適切に行うことの任務とする。

組織等

年度末定員 … 2,207名

(本省)

大臣官房

総合教育政策局

(所管法人)…(独)国立女性教育会館
(独)国立青少年教育振興機構
(独)教職員支援機構

初等中等教育局

(所管法人)…(独)国立特別支援教育総合研究所

高等教育部

(所管法人)…(独)大学改革支援・学位授与機構
(独)国立高等専門学校機構
国立大学法人(81法人)
(独)日本学生支援機構
(独)大学入試センター
日本私立学校振興・共済事業団

科学技術・学術政策局

(所管法人)…(国研)科学技術振興機構

研究振興局

(所管法人)…大学共同利用機関法人(4法人)
(独)日本学術振興会
(国研)物質・材料研究機構
(国研)量子科学技術研究開発機構
(国研)理化学研究所

研究開発局

(特別会計)…エネルギー対策特別会計電源開発促進勘定
(所管法人)…(国研)日本原子力研究開発機構
(国研)宇宙航空研究開発機構
(国研)海洋研究開発機構
(国研)防災科学技術研究所

国際統括官

(外局) スポーツ庁 (所管法人)…(独)日本スポーツ振興センター

文化庁 (所管法人)…(独)国立美術館

(施設等機関等)

国立教育政策研究所 (独)日本芸術文化振興会
科学技術・学術政策研究所 (独)国立文化財機構
日本学士院 (独)国立科学博物館

※平成24年度より、「特別会計に関する法律」に基づき、東日本大震災復興特別会計が設置されている。

省庁別財務書類とは

省庁別財務書類は、文部科学省のこれまでの予算執行の結果である資産や負債などのストックの状況、当該年度の費用や財源などのフローの状況といった財務状況を一覧でわかりやすく開示する観点から、企業会計の考え方及び手法(発生主義、複式簿記)を参考として、平成14年度決算分より作成・公表しているものです。

省庁別財務書類においては、一般会計及び特別会計を合算した「省庁別財務書類」のほか、参考として各省庁の業務と関連する事務・事業を行っている独立行政法人などを連結した「省庁別連結財務書類」も作成・公表しています。

貸借対照表（令和6年度末）

(単位：十億円)

	前年度 (令和6年3月31日)	6年度 (令和7年3月31日)		前年度 (令和6年3月31日)	6年度 (令和7年3月31日)
<資産の部>			<負債の部>		
貸付金	2,872	2,849	退職給付引当金	138	113
有形固定資産	399	404	その他	4	3
出資金	12,646	13,096	負債合計	143	117
その他	44	52	<資産・負債差額の部>		
資産合計	15,961	16,403	資産・負債差額	15,818	16,286
			負債及び資産・負債差額合計	15,961	16,403

業務費用計算書（令和6年度）

(単位：十億円)

	前年度 (自令和5年4月1日) (至令和6年3月31日)	6年度 (自令和6年4月1日) (至令和7年3月31日)
人件費	69	69
義務教育費国庫負担金	1,560	1,618
補助金等	2,985	2,852
委託費等	83	81
運営費交付金	1,812	1,790
その他	135	123
業務費用合計	6,647	6,536

～省庁別財務書類(文部科学省)の概要～

- 文部科学省の省庁別財務書類においては、一般会計及び特別会計（エネルギー対策特別会計（電源開発促進勘定）、東日本大震災復興特別会計）を合算（会計間取引については相殺消去）して作成しています。

また、ここでは「貸借対照表」と「業務費用計算書」を中心に説明していますが、このほか、資産・負債差額の増減を要因別に表している「資産・負債差額増減計算書」、財政資金の流れを決算を組み替えて区別別に明らかにしている「区別別収支計算書」、さらに各計算書の附属明細書も作成しています。

詳細は別途公表している「省庁別財務書類」、「特別会計財務書類」をご参照ください。

～貸借対照表のポイント～

(資産)

- 出資金は、13兆967億円と金額も大きく、資産総額の80%を占めています。これは、独立行政法人等に対する出資金です。
- 貸付金は、2兆8,498億円と資産総額の17%を占めています。これは、独立行政法人日本学生支援機構における奨学金事業に要する資金です。

(負債)

- 退職給付引当金は、1,137億円と負債総額の97%を占めています。

(その他)

- 資産合計は、16兆4,037億円であり、前年度比+4,418億円となりました。
- 負債合計は、1,173億円であり、前年度比▲261億円となりました。

～業務費用計算書のポイント～

- 業務費用計算書は、国の業務実施に伴い発生した費用を発生主義に基づき作成しています。
- 文部科学省においては、高等学校等就学支援金交付金や私立大学等経常費補助金等の補助金等（義務教育費国庫負担金を除く）が2兆8,524億円と費用総額の44%を占めています。
- 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構をはじめとする各独立行政法人（国立研究開発法人を含む）及び国立大学法人東京大学をはじめとする各国立大学法人等に対する運営費交付金が1兆7,906億円と費用総額の27%を占め、補助金等に次いでコストがかかっています。
- 公立義務教育諸学校の教職員の給与及び報酬等に要する経費の国庫負担のために支出される義務教育費国庫負担金が1兆6,183億円と費用総額の25%を占め、3番目にコストがかかっています。
- 業務費用合計は、6兆5,363億円であり、前年度比▲1,110億円となりました。

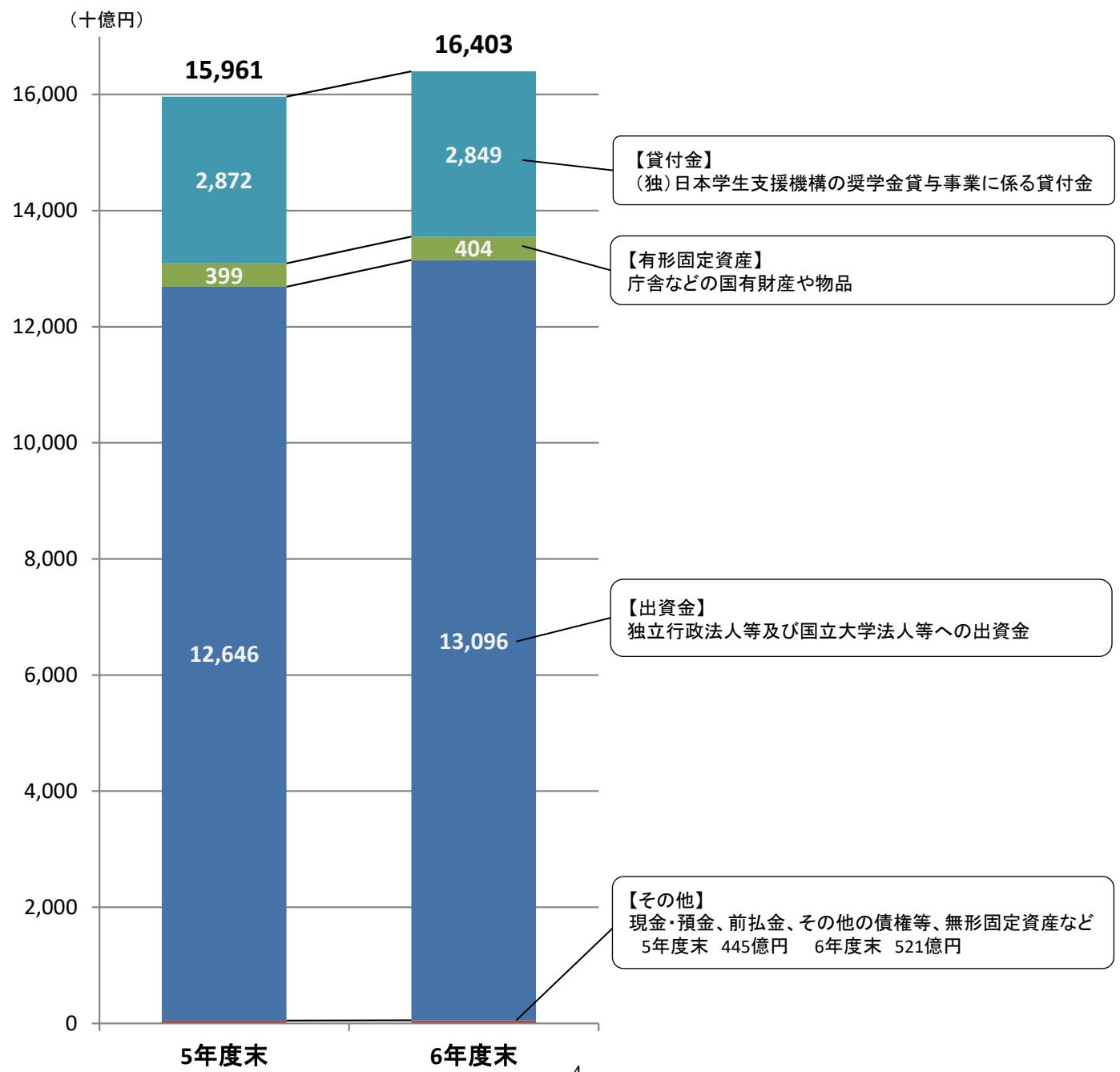
省庁別財務書類 ストックの状況（貸借対照表）

資産 16兆4,037億円(前年度比:+4,418億円)

主な増減要因等について

➢出資金 13兆967億円（前年度比：+4,507億円）
…東京工業大学と東京医科歯科大学の統合（東京科学大学）に伴う資産の再評価による
帳簿価額の増など

➢貸付金 2兆8,498億円（前年度比：▲223億円）
…独立行政法人日本学生支援機構に対する貸付金の減

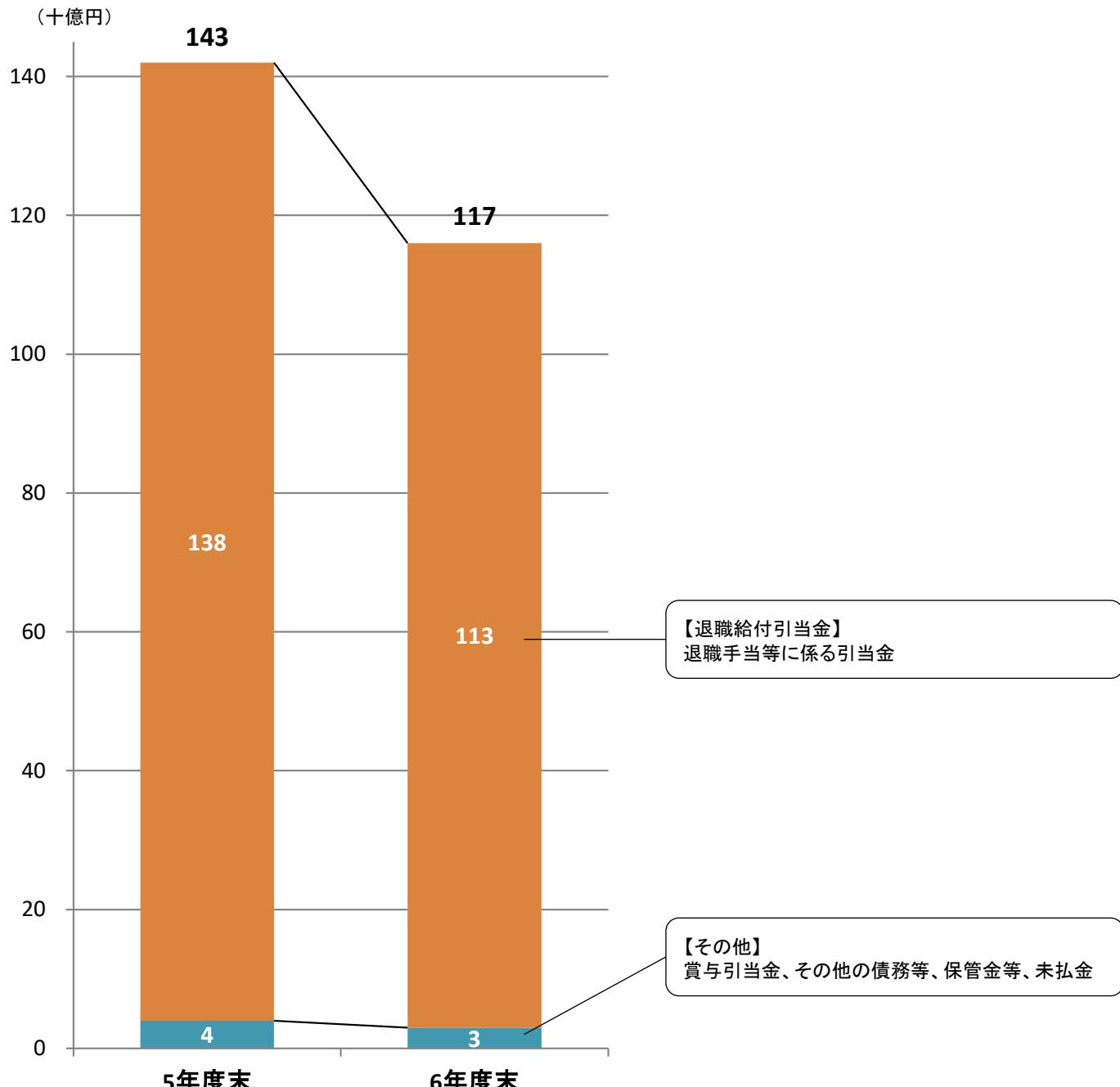


負債 1,173億円(前年度比:▲261億円)

主な増減要因等について

➢退職給付引当金 1,137億円 (前年度比:▲248億円)

…支給対象者の減少等による引当金の減など



省庁別財務書類 フローの状況(業務費用計算書)

費用 6兆5,363億円(前年度比:▲1,110億円)

主な増減要因等について

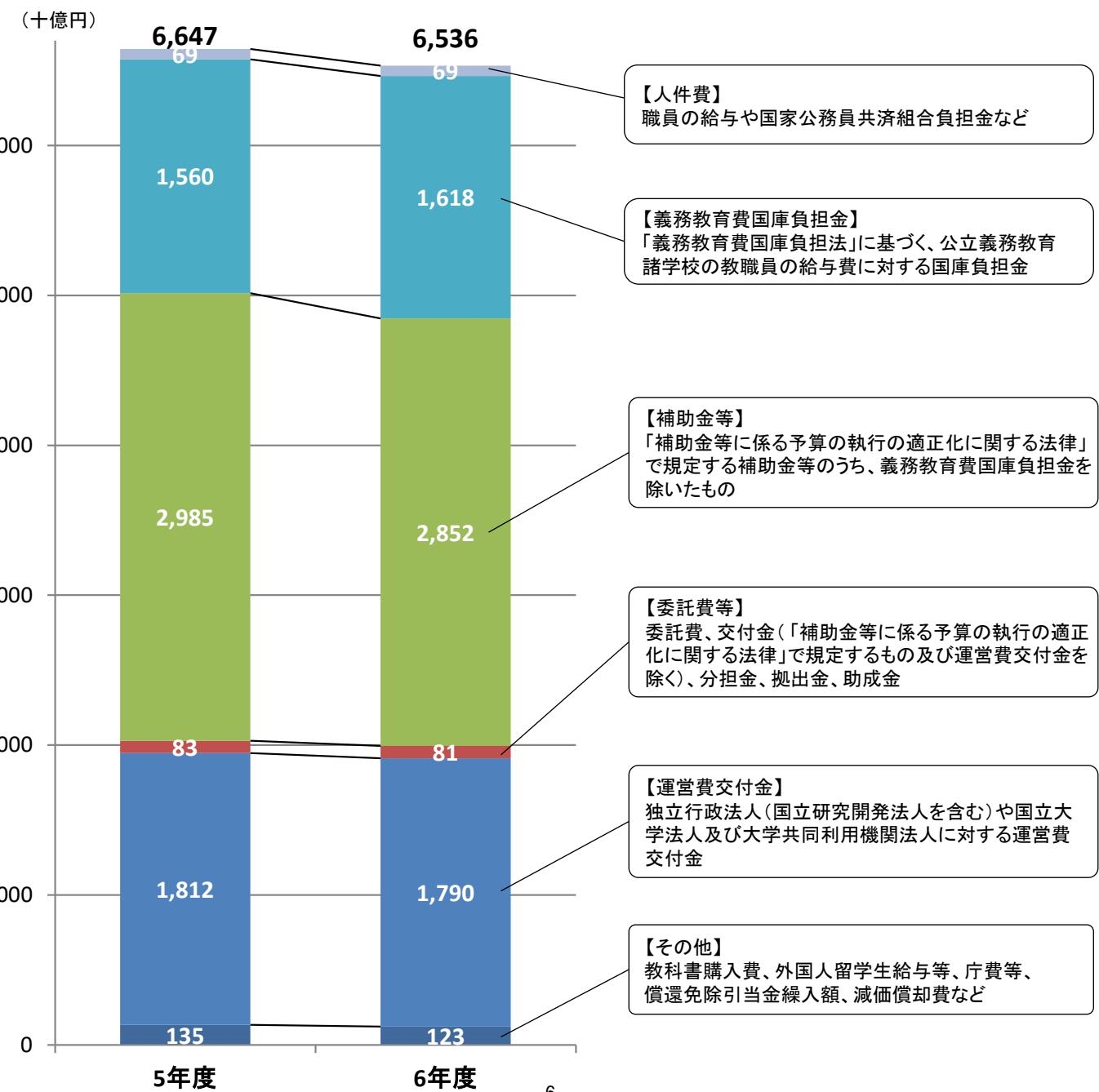
➢補助金等(義務教育費国庫負担金を除く)

2兆8,524億円(前年度比:▲1,330億円)

…「革新的研究開発推進基金補助金」の減など

➢義務教育費国庫負担金 1兆6,183億円(前年度比:+575億円)

…公立義務教育諸学校の教職員の給与及び報酬等に対する国庫負担金の増



(参考)省庁別連結財務書類について

省庁別財務書類に文部科学省の業務と関連する事務・事業を行っている法人を連結した省庁別連結財務書類を参考情報として作成しています。

連結貸借対照表（令和6年度末）

(単位：十億円)

	前年度 (令和6年3月31日)	6年度 (令和7年3月31日)		前年度 (令和6年3月31日)	6年度 (令和7年3月31日)
<資産の部>					
現金・預金	4,550	4,425	未払金等	727	879
有価証券	19,037	19,549	借入金	16,464	16,418
貸付金	9,719	9,617	加入者貯金	1,267	1,242
有形固定資産	12,133	12,551	公的年金預り金	4,933	5,280
その他	988	1,076	退職給付引当金	1,071	1,036
			その他	1,426	1,481
			負債合計	25,890	26,339
<資産・負債差額の部>					
資産・負債差額			資産・負債差額	20,537	20,880
資産合計	46,428	47,219	負債及び資産・負債差額合計	46,428	47,219

連結業務費用計算書（令和6年度）

(単位：十億円)

	前年度 (自令和5年4月1日) (至令和6年3月31日)	6年度 (自令和6年4月1日) (至令和7年3月31日)
人件費	1,710	1,763
義務教育費国庫負担金	1,560	1,618
補助金等	1,564	1,708
その他の経費	4,131	4,231
減価償却費	587	597
その他	477	486
業務費用合計	10,032	10,405

連結対象法人の範囲と会計処理について

省庁別連結財務書類は、各省庁の業務と関連する事務・事業を行っている法人を連結対象としています。

なお、この各省庁との「業務関連性」により連結する独立行政法人などは、『各省庁が監督権限を有し、各省庁から財政支出を受けている法人』とし、監督権限の有無及び財政支出の有無によって業務関連性を判断することとしています。

また、連結に際しては、本来であれば会計処理の基準を統一することが望ましいと考えられますが、事務負担などの観点から困難であるため、基本的には、独立行政法人などの既存の財務諸表を利用し、独立行政法人などに固有の会計処理について、連結に際して必要な修正を行った上で連結することとしています。

※令和6年度連結財務書類における連結対象法人は以下のとおりです。

○独立行政法人(国立研究開発法人を含む) 22法人

国立特別支援教育総合研究所、大学入試センター、国立青少年教育振興機構、国立女性教育会館、国立科学博物館、物質・材料研究機構、防災科学技術研究所、量子科学技術研究開発機構、国立美術館、国立文化財機構、教職員支援機構、理化学研究所、宇宙航空研究開発機構、科学技術振興機構、日本芸術文化振興会、日本学術振興会、日本スポーツ振興センター、海洋研究開発機構、日本学生支援機構、大学改革支援・学位授与機構、国立高等専門学校機構、日本原子力研究開発機構

○その他の法人 1法人

日本私立学校振興・共済事業団

○国立大学法人、大学共同利用機関法人 85法人

北海道大学、北海道教育大学、室蘭工業大学、北海道国立大学機構、旭川医科大学、弘前大学、岩手大学、東北大学、宮城教育大学、秋田大学、山形大学、福島大学、茨城大学、筑波大学、筑波技術大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、千葉大学、東京大学、東京外国語大学、東京学芸大学、東京農工大学、東京芸術大学、東京科学大学、東京海洋大学、お茶の水女子大学、電気通信大学、一橋大学、横浜国立大学、新潟大学、長岡技術科学大学、上越教育大学、富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、静岡大学、浜松医科大学、東海国立大学機構、愛知教育大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学、滋賀大学、滋賀医科大学、京都大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、大阪教育大学、兵庫教育大学、神戸大学、奈良国立大学機構、和歌山大学、鳥取大学、島根大学、岡山大学、広島大学、山口大学、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、福岡教育大学、九州大学、九州工業大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、鹿屋体育大学、琉球大学、政策研究大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学、総合研究大学院大学、人間文化研究機構、自然科学研究機構、高エネルギー加速器研究機構、情報・システム研究機構

合計 108法人

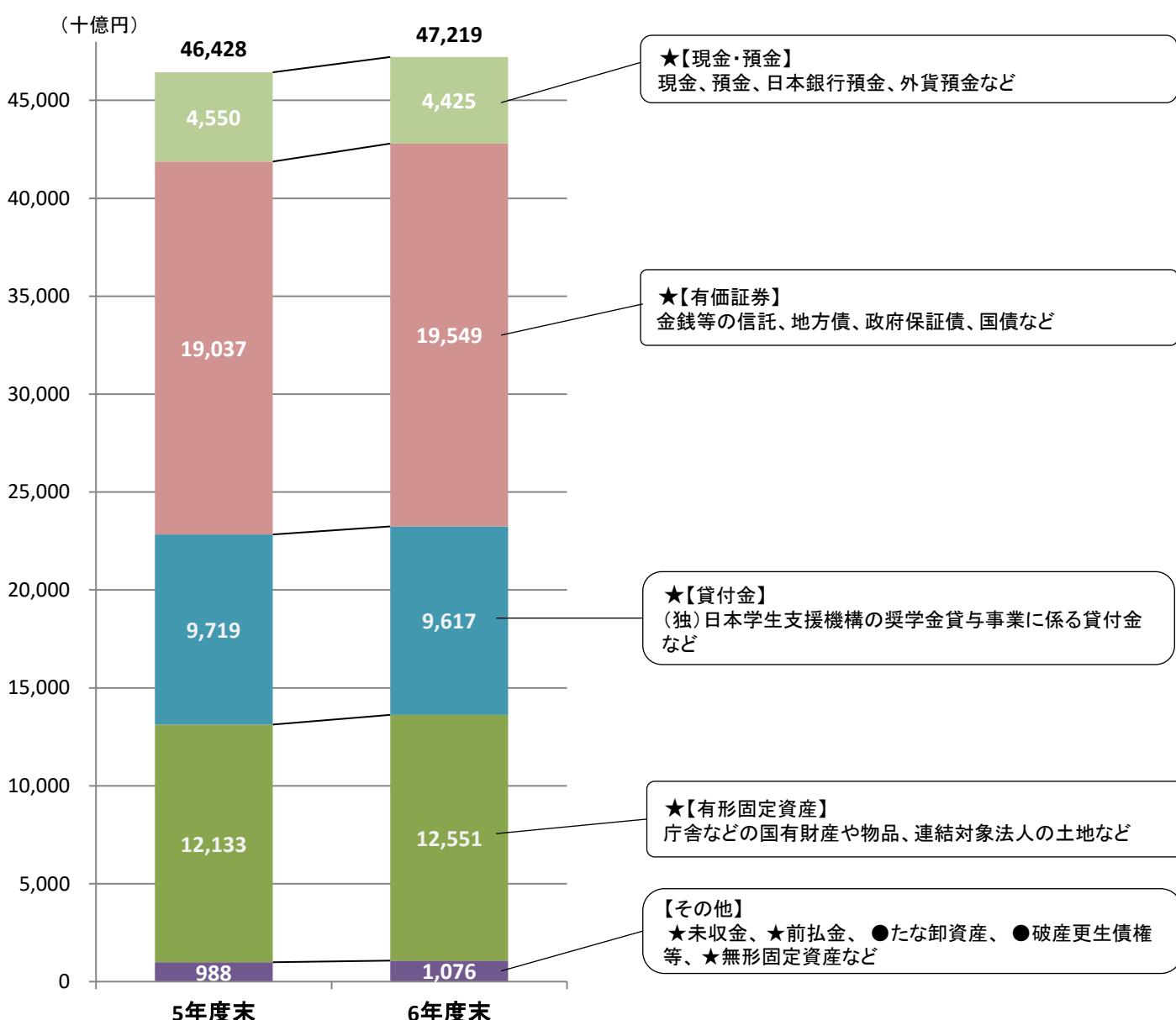
連結財務書類 ストックの状況 (連結貸借対照表)

資産 47兆2,199億円(前年度比:+7,912億円)

主な増減要因等について

➢有価証券 19兆5,491億円(前年度比:+5,118億円)
…国立研究開発法人科学技術振興機構等が保有する有価証券の増など

➢有形固定資産 12兆5,512億円(前年度比:+4,180億円)
…東京工業大学と東京医科歯科大学の統合(東京科学大学)に伴う有形固定資産の再評価による帳簿価額の増



注) ・国と連結対象法人及び連結対象法人間の債権債務等については相殺消去をしている。

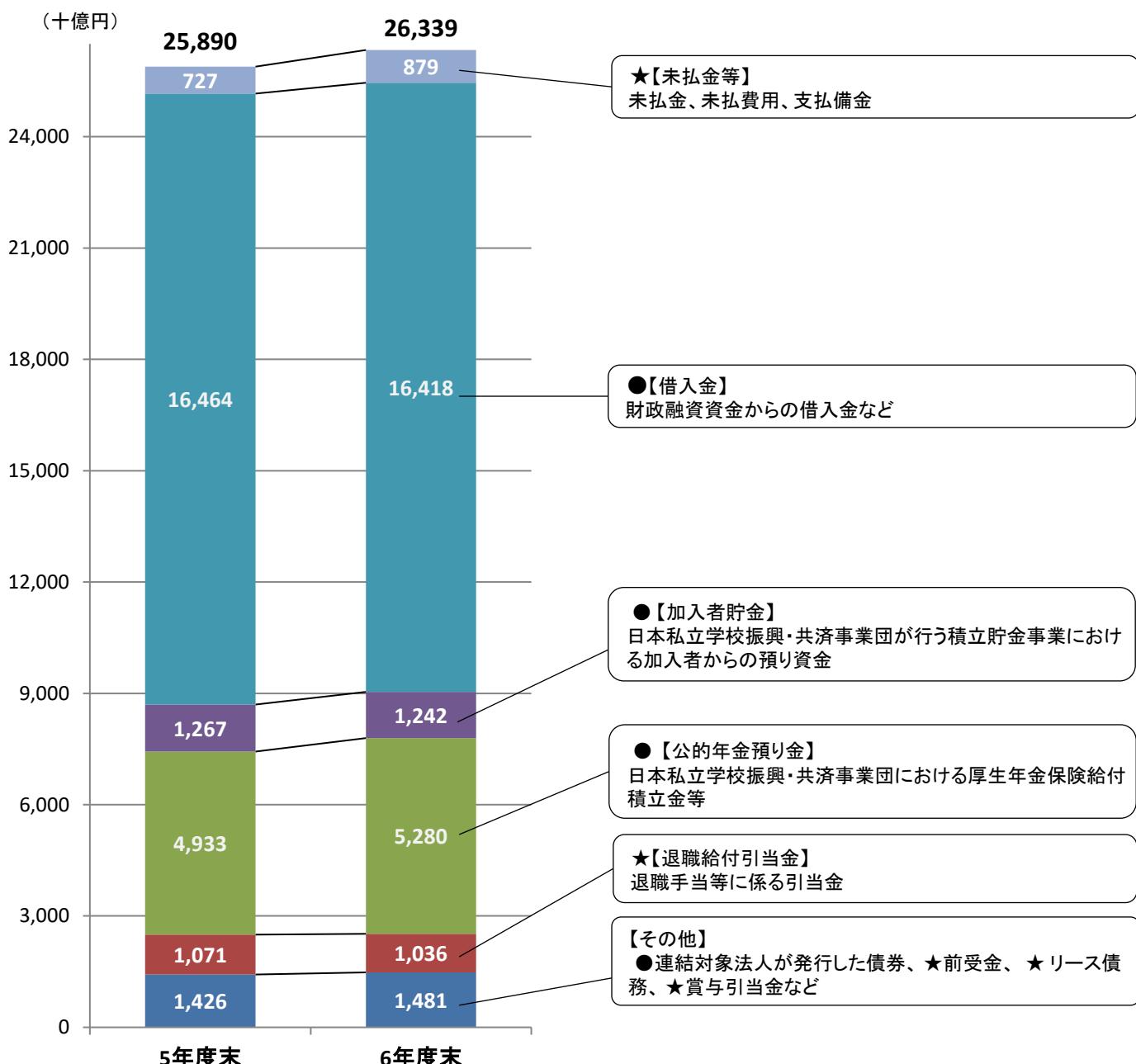
・国のみ計上のあるた科目は○を、連結対象法人のみ計上のあるた科目は●を、国と連結対象法人の両方に計上のあるた科目は★を付記している。

負債 26兆3,391億円(前年度比:+4,482億円)

主な増減要因等について

➢公的年金預り金 5兆2,804億円（前年度比：+3,464億円）
…日本私立学校振興・共済事業団における公的年金預り金の増

➢未払金等 8,798億円（前年度比：+1,522億円）
…独立行政法人及び国立大学法人等の未払金の増など



- 注) ・国と連結対象法人及び連結対象法人間の債権債務等については相殺消去をしている。
・國のみ計上にあった科目は○を、連結対象法人のみ計上にあった科目は●を、國と連結対象法人の両方に計上にあった科目は★を付記している。

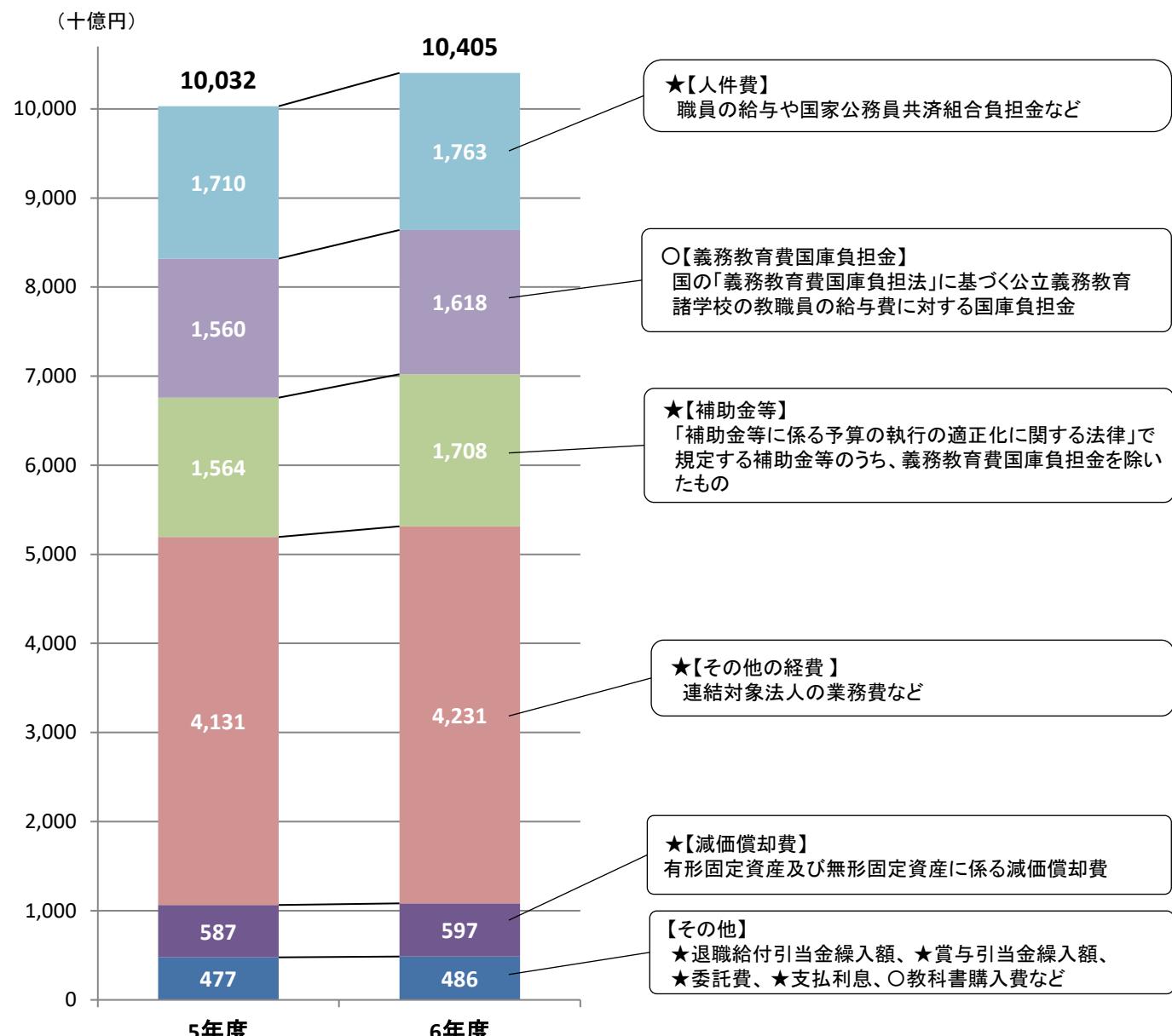
連結財務書類 フローの状況(連結業務費用計算書)

費用 10兆4,055億円(前年度比:+3,734億円)

主な増減要因等について

➢補助金等 1兆7,087億円(前年度比:+1,446億円)
…「公立学校情報機器整備事業費補助金」の増など

➢その他の経費 4兆2,310億円(前年度比:+990億円)
…独立行政法人及び国立大学法人等の業務費の増など



注)・国と連結対象法人及び連結対象法人間の債権債務等については相殺消去をしている。

・国のみ計上のある科目は○を、連結対象法人のみ計上のある科目は●を、国と連結対象法人の両方に計上のある科目は★を付記している。